

【重症化予防事業】

国民健康保険の特定健診やレセプトの状況を見ると糖尿病、高血圧の服薬者数、医療受診状況が県内平均と比較して多く、人工透析者数も多い状況にある。健診結果に合わせた情報提供と保健指導を実施し、糖尿病の重症化予防に取り組む。

1 血糖コントロール塾 7.0会

血糖コントロールに向けた意欲向上と生活習慣改善への実践をサポートするため、毎月実施している。

<実施状況>

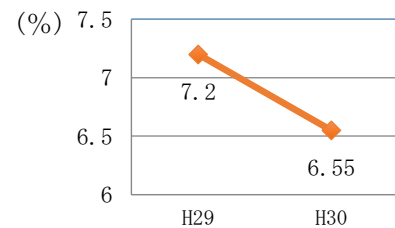
- (1) 実施日時 毎月第3火曜日（年12回） 午後1時30分～午後3時
- (2) 実施場所 保健センター
- (3) 対象者 HbA1c 7.0%前後の方
- (4) スタッフ 保健師、管理栄養士 ※8月・2月健康づくりリーダー、12月歯科衛生士
- (5) 内 容 健康チェック（体重・血圧・簡易随時血糖値）
各月テーマに合わせての参加者トークとミニ講話、情報提供、体験実技
必要に応じて医療受診と治療継続の勧奨

<実施結果> 実人数27人 延人数170人（月平均14.2人）

(1) 実人数内訳（年齢・性別・保険種別）

年齢	男性	女性	国保	後期高齢	国保以外
40～64歳	0	0	0	-	0
65～74歳	6	18	21	-	3
75歳以上	1	2	1	2	0
合計	7	20	22	2	3

(2) HbA1c 平均値の変化



※2年参加18人の健診データより

(3) 各月内容及び参加人数

月	内 容	人数	月	内 容	人数
4月	糖尿病とは？	14	10月	ウォーキングのポイント	11
5月	プラス10分で運動効果	14	11月	検診結果からの今後の健康管理	12
6月	食生活の振り返り	14	12月	糖尿病と歯の健康の関係	16
7月	生活リズム	11	1月	バランスのよい食事を考える	15
8月	室内体操で血管若返り	14	2月	寒い時期でも動こう！	19
9月	食欲の秋！果物？間食？	11	3月	受診状況・服薬状況等の確認	19

2 ハイリスク者個別保健指導

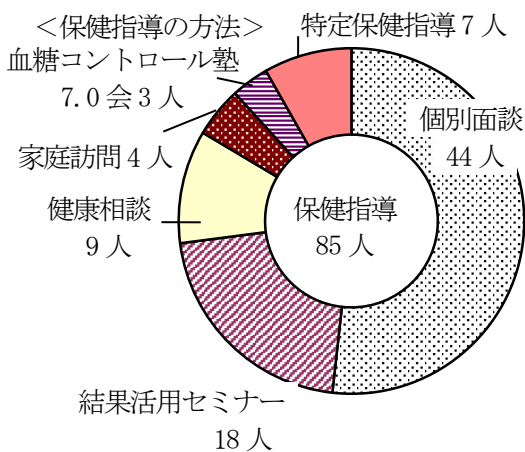
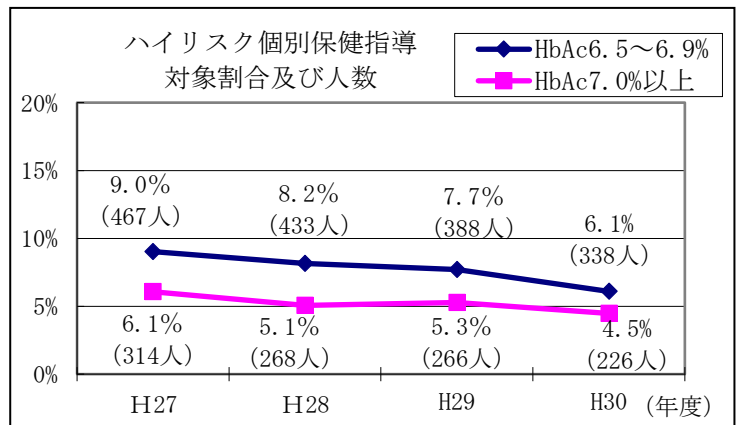
特定健診の結果から重症化が心配な方に対し、平成27年度から優先順位をつけて情報提供や保健指導を実施している。保健指導は個別面談の他各種保健事業も活用し、面談後には他の保健事業につなげている。

<実施状況>

- (1) 実施期間 平成30年6月～平成31年3月
- (2) 実施場所 保健センター、市役所、自宅
- (3) 対象者 平成30年度特定健診の結果 HbA1c 5.6%以上の方
- (4) スタッフ 保健師4人、管理栄養士2人
- (5) 内 容
 - ①HbA1c 5.6～6.4%の方に高血糖のちらしを健診結果に同封し情報提供
 - ②HbA1c 6.5～6.9%の方に高血糖のちらしを健診結果に同封し情報提供
 - ③HbA1c 7.0%以上の方、または重複リスク保有者に健診結果の説明と保健指導の希望調査票を送付。その後直接面談できる日を調整し、健診結果を渡しながらか保健指導実施。
 - ④強力受診勧奨に該当し電話にて保健指導を希望された方
 - ⑤医療機関からの依頼や本人が希望した方

(6) 結 果 (人)

内 容	実施人数
情報提供 (HbA1c5.6～6.4%)	2967
情報提供 (HbA1c6.5～6.9%)	338
情報提供 (HbA1c7.0%以上)	226
保健指導 (HbA1c7.0%以上)	69



保健指導実施理由	実施人数	保健指導実施理由	実施人数
重複リスク	5	医療機関より依頼	1
強力受診勧奨	8	事後フォロー	2
		合計	16

※ 上記16人は血糖値ごとの対応人数に含む

3 糖尿病性腎症重症化予防プログラム

糖尿病の重症化予防を目的に、特定健診査結果から糖尿病性腎症の疑いがある者に対し、平成28年度より医療未受診者の受診勧奨と主治医と連携した保健指導を実施している。

<実施状況>

(1) 実施期間 平成30年6月～平成31年3月

(2) 実施場所 保健センター、自宅

(3) 対象者 特定健診の受診者のうち、下記の条件に当てはまる方

40歳～64歳 HbA1c 6.5%以上または空腹時血糖 126mg/dl 以上かつ尿蛋白+以上

65歳～74歳 HbA1c 7.0%以上または空腹時血糖 130mg/dl 以上かつ尿蛋白+以上

(4) スタッフ 保健師1人、管理栄養士3人

(5) 内 容

①受診勧奨：レセプトで医療機関未受診者に対し、医療機関へ受診勧奨を行う。

②保健指導：糖尿病性腎症について情報提供と医療受診状況を確認する。健診受診医療機関、主治医の先生の了解のもと、保健師及び管理栄養士により糖尿病、腎臓病の重症化予防の保健指導、栄養指導を行う。

<実施結果>

年齢	①受診勧奨対象		②保健指導対象	
	男	女	男	女
40～44歳	0	0	1	0
45～49歳	0	0	0	0
50～54歳	1	1	3	1
55～59歳	1	0	1	0
60～64歳	0	0	5	3
65～69歳	1	0	3	1
70～74歳	2	1	9	3
小計	5	2	22	8
合計	7		30	

年齢	①受診確認		②面談実施	
	男	女	男	女
40～44歳	0	0	0	0
45～49歳	0	0	0	0
50～54歳	1	1	1	0
55～59歳	1	0	0	0
60～64歳	0	0	2	0
65～69歳	1	0	2	1
70～74歳	2	1	2	3
小計	5	2	7	4
合計	7		11	

①受診勧奨 対象者7人全てに口頭かつレセプトにて受診確認（勧奨実施率100%）

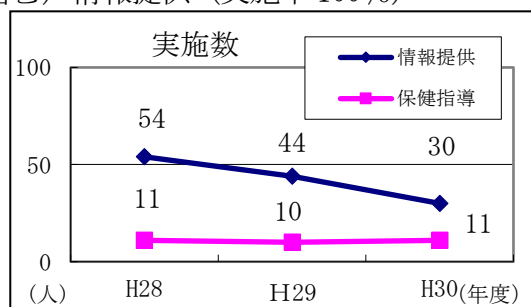
②保健指導 対象者30人（受診勧奨対象者7人を含む）情報提供（実施率100%）
うち新規該当者17人

③主治医との連携状況 面談結果の報告

平成28年度 連携延17件 面談数11人（20.3%）

平成29年度 連携延26件 面談数10人（22.7%）

平成30年度 連携延22件 面談数11人（36.7%）



4 からだ&血管若返りセミナー（高血圧重症化予防）

高血圧の服薬者数及び医療受診者数が多いため平成27年度より高血圧の重症化予防のための体験型のセミナーを実施している。

＜実施状況＞

- (1) 実施日時 平成30年12月3日（月）、12月14日（金）
1クール：午後1時30分～午後3時15分
2クール：午後2時30分～午後4時15分
- (2) 実施場所 保健センター
- (3) 対象者 平成30年度特定健診の結果で血圧が高めの方、市民
- (4) スタッフ 保健師4人、管理栄養士2人、ヘルスメイト2人、運動指導士1人
- (5) 周知 健診の結果下記に該当した方に案内ハガキ送付（合計893人）。
50～70歳の血圧130mmHg/85mmHg以上で服薬していない方
50～74歳の血圧140mmHg/90mmHg以上であった方
11月～12月に実施した事業にてちらしを配布（200人）
- (6) 内容 講話・参加者トーク：血圧のメカニズム
食生活：高血圧予防のための食事講話と体験（減塩、野菜摂取）
運動：高血圧予防のための運動講話と体験
個別保健指導：重症化予防の対象者、特定保健指導対象者には、セミナー終了後に個別で保健指導を実施した。

(人)

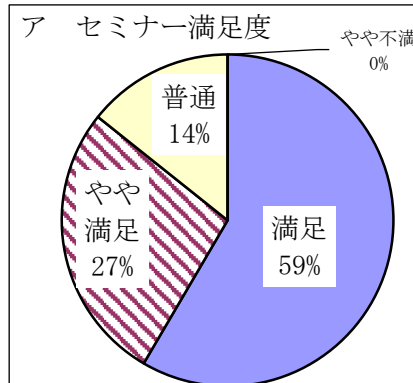
(7) 参加数と保険の種類

実施日	国民健康保険	後期高齢者医療	その他の保険	合計
12月3日	38	4	1	43
12月14日	32	2	1	35

① 男女別年齢別内訳(人)

年齢	男	女	計
40代	2	0	2
50～54	0	2	2
55～59	1	1	2
60～64	3	10	13
65～69	18	24	42
70～74	5	6	11
75以上	2	4	6
合計	31	47	78

② アンケート結果



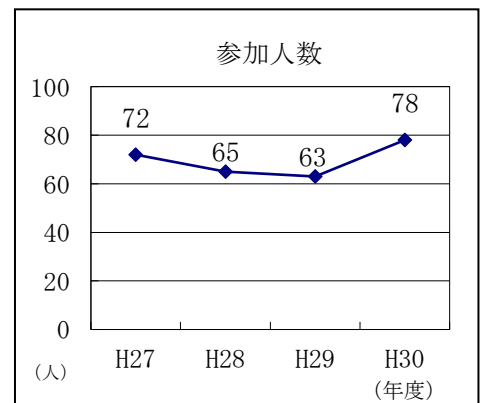
イ 気づき、今後取り組みたいこと

食事

- ・塩分に気をつける 67人
- ・野菜をとる 14人 など

運動

- ・プラス 10 29人
- ・筋トレ・ストレッチ 10人
- ・ウォーキング 34人 など



5 CKD（慢性腎臓病）普及啓発事業

慢性腎臓病への理解を深め、早期予防・重症化予防に取り組む者を増やすため市民に知識を普及する取り組みを平成30年度より実施している。

<実施状況>

- (1)実施日時 平成30年11月11日(日) 午前9時～正午
- (2)実施場所 保健センター
- (3)対象者 特定健診の結果腎機能が低下している方、市民
- (4)スタッフ 保健師9人、管理栄養士2人、保険年金課7人
- (5)周知 平成29年度特定健診の結果下記に該当した方へ個別通知(746人)
 $eGFR 15\text{ml}/\text{min}/1.73\text{m}^2$ 以上 $60\text{ml}/\text{min}/1.73\text{m}^2$ 以下
 市内医療機関・薬局へポスター・ちらしを配布、広報、ホームページ等

(6)内 容

CKD(慢性腎臓病)を知ろう啓発キャンペーン「長生きの秘訣は腎臓にあり」

①各種コーナー(体組成・筋力・味覚チェック、パネル・書籍展示等)

②市民公開講座(講演会、保健事業PR、腎臓食用特殊食品サンプル提供)

ア 講演1「ほかっておくと怖い慢性腎臓病の話」蒲郡クリニック院長 村上和隆氏

イ 講演2「腎臓をいたわる食事」保険年金課 管理栄養士

<実施結果>

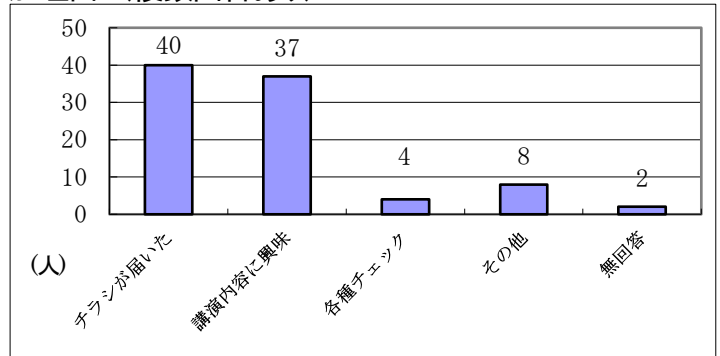
(1)参加者数 95人(うち国民健康保険74人、後期高齢9人、その他12人)

(2)参加者内訳等

①男女別年齢別内訳 (人)

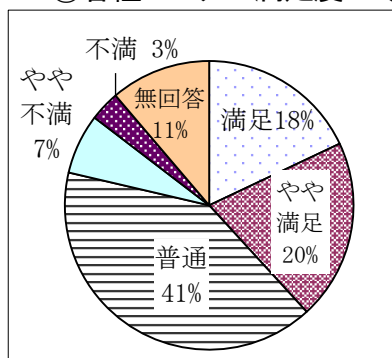
参加者 年齢	男性		女性	
	国保	国保外	国保	国保外
40～49	0	1	0	1
50～59	0	0	3	1
60～69	9	1	20	2
70～74	19	1	23	0
75～	0	9	0	5
合計	28	12	46	9

②参加理由(複数回答あり)

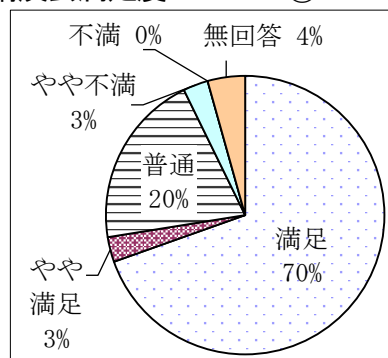


(3)効果測定やアンケート結果等

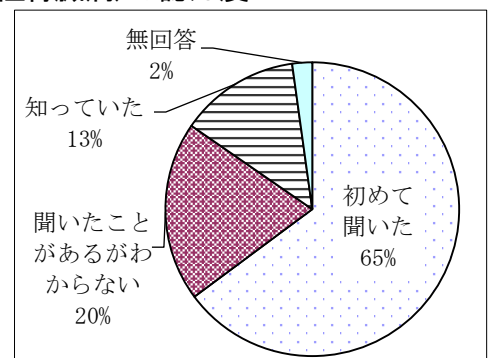
①各種コーナー満足度



②講演会満足度



③CKD(慢性腎臓病)の認知度



6 蒲郡腎臓病ネットワーク（蒲郡市糖尿病性腎症重症化予防連携会議・研修会）

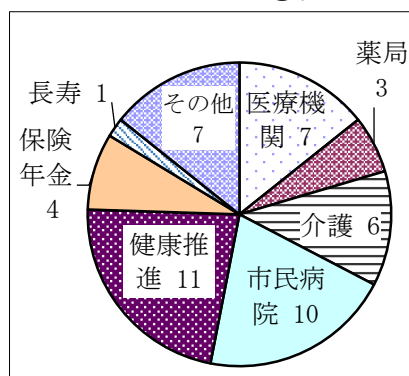
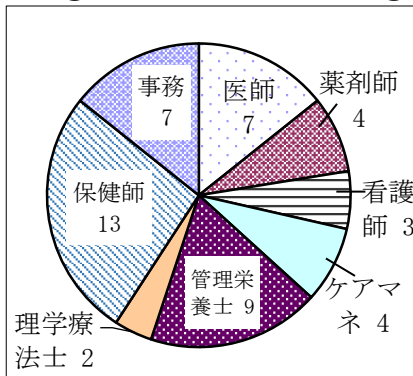
腎臓病の予防と重症化を予防するため、平成30年度より、蒲郡市の現状を共通認識し課題解決に向けて協同で取り組むために保健医療関係者の連携会議を実施している。

<実施状況>

- (1)実施日時 平成31年3月2日(土) 午後2時～午後4時30分
- (2)実施場所 保健センター
- (3)対象者 蒲郡市内の保健福祉医療関係者
- (4)スタッフ 保健師10人、管理栄養士3人
- (5)周知 市内医療機関、市内薬局、長寿課へちらしを配布、プレスリリース等
- (6)内容
 - 一部 レクチャー「かかりつけ医・腎臓専門医・市民病院・行政の立場から」
講師 カワイ外科 河合雄氏、蒲郡クリニック 村上和隆氏、
市民病院 山内崇裕氏、健康推進課 石黒美佳子氏
 - 二部 グループワーク 座長 カワイ外科 河合雄氏

<実施結果>

- (1)参加者数 49人
- (2)参加者・受診者内訳等
 - ①職種別内訳 (人)
 - ②所属別内訳 (人)
 - ③募集ちらし



蒲郡市の保健医療関係者の皆様へ
蒲郡腎臓病ネットワーク
 (蒲郡市糖尿病性腎症重症化予防連携会議・研修会)
 糖尿病や腎臓病の重症化予防のためには、医療と保健が連携することが重要です。このたびは、保健医療関係者が糖尿病、腎症の現状を共通認識し、課題解決に向けて協働で取り組む場として、下記のとおり開催します。

日時 平成31年3月2日(土) 14:00～16:30
会場 蒲郡市保健医療センター3F 講堂
参加費 無料 **定員** 50名(予約制・先着順)

あしつ 蒲郡市
一部 レクチャー
 ●座長:カワイ外科 院長 河合雄氏
 ●行政の立場から～蒲郡市市民福祉課次長 健康推進課 石黒美佳子氏～
 ●かかりつけ医の立場から～医師法人カワイ外科 院長 河合雄氏～
 ●腎臓専門医の立場から～蒲郡クリニック 院長 村上和隆氏～
 ●市民病院の立場から～糖尿病看護認定看護師 山内崇裕氏～

二部 グループワーク
 ●蒲郡市で取り組む糖尿病性腎症重症化予防

3)効果測定やアンケート結果等 回収29人(回収率59.1%) ②は複数回答あり

- ①全体について (人)
- ②連携につながりそうか(人)
- ③今後の参加意向 (人)

